

助成年度：平成19年度

[所属] 九州大学大学院 工学研究院

[役職] 学術研究員

[氏名] 高尾 忠志

[課題]

官民協働体性による景観計画策定プロセスに関する事例研究－由布市湯の坪街道周辺地区景観計画策定を事例として－

[内容]

本研究は、官民学協働体制による景観法の検討プロセスを支援し、地域合意形成を進める中でその課題について考察するものであり、今後さらに増加する景観まちづくりの手法の開発に寄与するものである。本研究では、湯の坪街道周辺地区景観づくり検討委員会の活動に対し、市から予算的支援を受けていない（1）合意形成支援（2）河川整備方針の検討の2点について支援し、さらに（3）合意形成プロセスの分析を行った。分析の結果、湯布院町湯の坪街道周辺地区のような観光地化され、多くの店舗が存在する地域において、地域景観に関するルールづくりを行う場合には、①土地・建物を所有して、店舗を運営している地域外の者の三者について、特に合意形成に対する配慮が必要であることが明らかになった。